

## 志賀原子力発電所 1号機 廃棄物処理建屋内における水漏れについて

平成16年6月11日  
北陸電力株式会社

志賀1号機において、昨日(10日)午後3時頃、廃棄物処理建屋にある高電導度廃液系濃縮装置<sup>1</sup>蒸発缶(A)の点検のため缶内を純水で洗浄していたところ、同建屋地下1階の高電導度廃液系濃縮装置加熱器(A)下部フランジより洗浄水が床へ漏えいしました。なお、同床には漏えい防止用の堰が設置され、かつ、ビニールシートにより養生されていたため、堰外への漏えいはありませんでした。

漏れた量は約340リットル、放射エネルギーは約160万ベクレルでした。

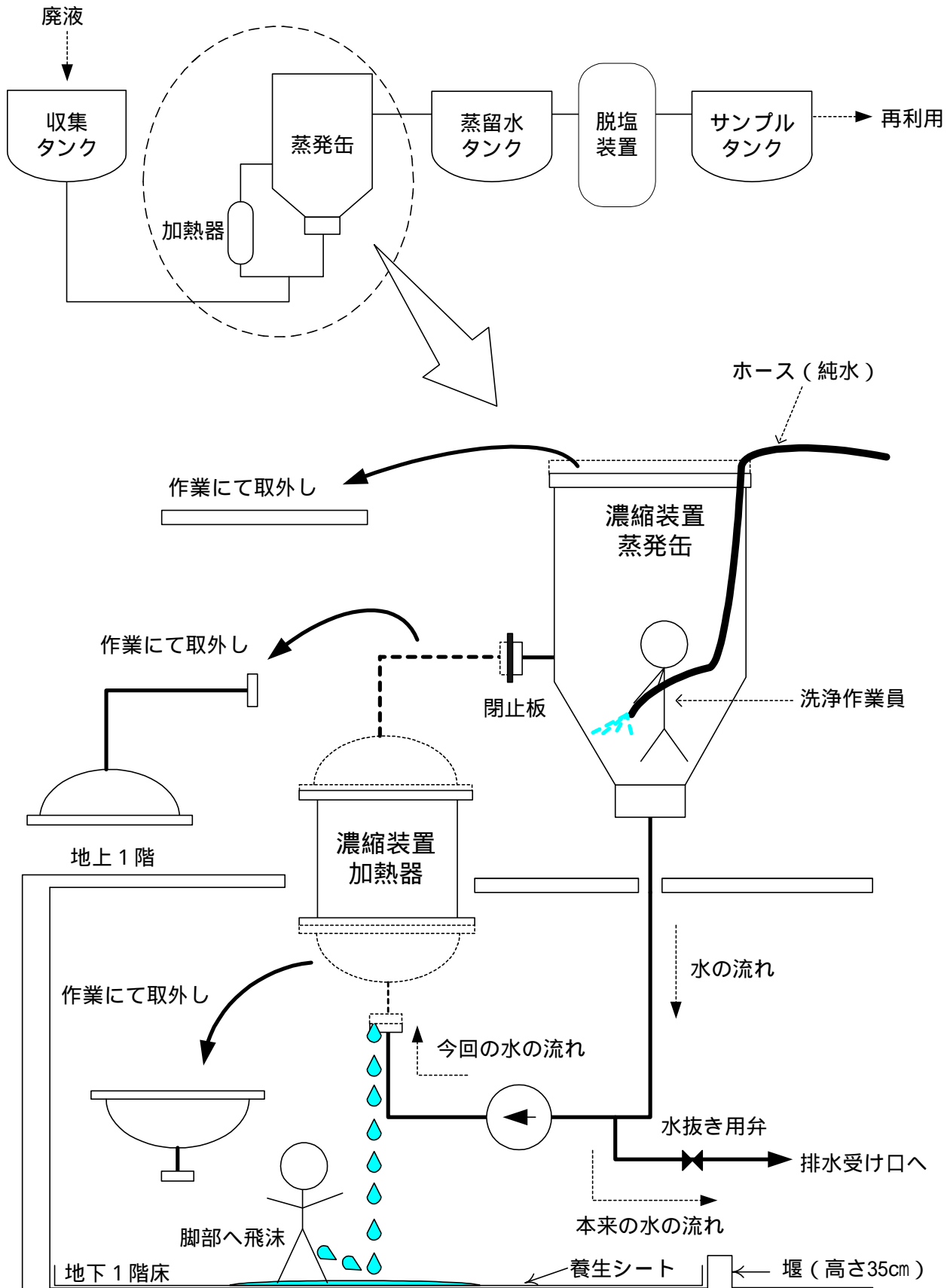
水が漏れた際、点検作業のため現場にいた作業員1名の脚部に、漏えいした水の飛沫がかかりましたが、身体には汚染がないことを確認しました。また、外部への放射能の影響はありません。

原因は、当該の作業手順書に洗浄水の排水に係わる手順の記載がなく、水抜き用の弁を開けないで洗浄作業をしたため、漏えいしたものです。今後は、作業管理を徹底してまいります。

本事象は、石川県、志賀町および富来町と締結している連絡基準に従い、当該自治体へ連絡しています。

以 上

1 高電導度廃液系濃縮装置とは、機器の洗浄水等である高電導度廃液を濃縮蒸留するための装置で、蒸発缶、加熱器、循環ポンプ等で構成されている。



高電導度廃液系濃縮装置系統概略図  
(廃棄物処理建屋)